

平成26年度社会福祉振興助成事業

川内村復興再生生活支援および交流事業

報告書

特定非営利活動法人
川内村NPO協働センター

〒979-1201
福島県双葉郡川内村大字上川内字町分211
Tel 0240-25-8615

事業の実施状況

1 実行委員会の開催

事業実施にかかる課題の把握、整理、検討、事業の進捗管理及び次年度の活動方針決定の為3回4日間開催した。

2 川内村地域における高齢者生活支援活動

生活支援、交流を必要としている方に対して、川内村商工会が行っている移動販売に同行してのサポート、五社の杜サポートセンター(仮設住宅の集会所)でのサロン活動へのサポート及びデイサービスゆふね(川内村社会福祉協議会)でのサポートを行い、買物補助・相談・見守り・心のケア、交流・居場所づくりの活動をした。要望の強かった川内村仮設住宅(下川内)および川内村内(避難地域を含む)の地域にて、介護保険制度外の要支援者に対し行った。(介護保険制度内の要支援者へのサポートは川内村社会福祉協議会が担当)

3 交流イベントの開催

交流促進、孤立化防止、復興・再生の「見える化」および本事業の周知を図るため以下のイベントを実施した。

05月18日: 秋元氏田んぼ(川内村地内)で田植えイベント交流会。

09月21日: 五社の杜サポートセンター(川内村地内)でセプテンバーコンサート。

10月27日: 川内村村民体育センター(川内村地内)で南会津町紙風船打ち上げ隊の協力を得て、巨大紙風船打ち上げ及び紙風船ワークショップ。

11月27日: 五社の杜サポートセンター(川内村地内)で本年川内村産米を使った寿司の炊き出し等を埼玉県寿司炊き出しの会の協力を得て、川内村収穫祭。

4 ネットワークの強化活動

パンフレット・事業ホームページ製作。川内村商工会、川内村教育委員会、関係団体、福玉会議(建築士、弁護士、大学等を内包する支援・避難者団体89団体参加)等のリアルなネットワークとSNS・Facebook等のヴァーチャルなネットワークを融合して本事業をサポートした。

特に、本事業を通じて川内村社会福祉協議会との協力関係が深まった。

事業成果

○実施体制・事業実施過程について

川内村商工会：行政との連絡調整

社会福祉法人川内村社会福祉協議会：実施内容の確認・監修

特定非営利活動法人災害支援団体ネットワーク：全国的な災害支援団体。ネットワーク構築、交流イベント支援。

日進親和会：収穫祭等の交流イベント支援。

特定非営利活動法人NPO埼玉ネット：福玉会議等のネットワーク、ラジオ・映像・音響技術支援

学校法人立正大学・地球環境科学部・環境システム学科：SNS・Facebook等のヴァーチャルネットワーク

特定非営利活動法人国境なき楽団：セプテンバーコンサートステージ、講師派遣

企画：事務局及び上記団体、運営：事務局・川内村商工会・災害支援団体ネットワーク・日進親和会・NPO埼玉ネット・立正大学・地球環境科学部・国境なき楽団、広報：事務局・川内村商工会・川内村社会福祉協議会・災害支援団体ネットワーク・立正大学・地球環境科学部・国境なき楽団、会計：事務局

連携団体同士の関係がさらに深まった。

○事業の具体的な成果等について

(成果)

昨年度実施したイベントについて継続できた。新規事業である川内村商工会が行っている移動販売同行については、見守り活動であり、避難指示解除地域が増え人材不足で有ったが、NPOが協力することにより、新たなルートが創造できた。さらに、平成27年8月開所予定の村営商業施設内飲食店出店について、日進親和会の協力が得られる。

川内村社会福祉協議会からは介護保険制度外の要支援者に対する支援についてNPO側に要請があり、次年度の活動予定である。

(課題)

外部ボランティアの宿泊施設の不足と団体の活動資金不足が課題である。

○連携について(地域連携活動支援事業、全国的・広域的ネットワーク活動支援事業に該当する場合に記載)

平成25年6月27日に設立した杉戸町・富岡町・川内村地域間共助推進協議会(構成：杉戸町・富岡町・川内村・NPO埼玉ネット・すぎとSOHOクラブ)の活動が今年度も継続できた。

○波及効果について

川内村での活動が、帰町を計画している富岡町へ波及していくものとする。杉戸町・富岡町・川内村地域間共助推進協議会の活動の中で、情報を共有している。

○新たなニーズ・事業展開について

避難指示解除地域における移動販売、村営商業施設運営への協力、介護保険制度外の要支援者に対する支援

川内村復興再生生活支援および交流事業：役割分担

川内村NPO協働センターと連携する団体

川内村商工会：行政との連絡調整
社会福祉法人川内村社会福祉協議会：実施内容の確認・監修
特定非営利活動法人災害支援団体ネットワーク：全国的な災害支援団体。
ネットワーク構築、交流イベント支援。
日進親和会：収穫祭等の交流イベント支援。
特定非営利活動法人NPO埼玉ネット：福玉会議等のネットワーク、ラジオ・映像・音響技術支援
学校法人立正大学・地球環境科学部・環境システム学科：SNS・Facebook等のヴァーチャルネットワーク
特定非営利活動法人国境なき楽団：セプテンバーコンサートステージ

市民協福島結成 に参加

特定非営利活動法人
ふくしまNPOネットワークセンター
特定非営利活動法人
まごころサービス福島センター
特定非営利活動法人
陽だまりハウス
※福島県内福祉系団体の
ネットワーク



川内村NPO協働センター



川内村復興再生生活支援および交流事業：実行委員会の開催

川内村教育委員会



事業実施にかかる課題の把握、整理、検討、事業の進捗管理及び次年度の活動方針決定の為4日間開催した。

川内村企画会議



川内村商工会



市民福祉団体全国協議会



川内村商工会

川内村復興再生生活支援および交流事業：生活支援活動

見守り訪問



買物補助・相談・見守り・
心のケア、交流・居場所
づくりの活動

サロン活動



デイサービスセンター



移動販売

移動販売



川内村復興再生生活支援および交流事業：交流イベント開催

田植え交流



収穫活動



交流促進、孤立化防止、復興・再生の「見える化」および本事業の周知を図るためイベントを実施した。

巨大紙風船



セプテンバーコンサート

川内村収穫祭



川内村復興再生生活支援および交流事業:ネットワーク強化



ラジオ体験

リアルなネットワークとSNS・Facebook等の
ヴァーチャルなネットワークを融合して本事業をサポートした。

かわうち放送局



映像体験



ネットワーク会合



川内村復興再生生活支援および交流事業:その他の成果

平成26年度事業実施から見えてきたこと

平成26年度に実施した事業を継続しながら、下記新規事業を行う。

平成27年度活動の方向

- 1.避難指示区域の解除に伴う下川内地区における新たな行政サービスの提供、商業施設運営への協力等を通じて復興支援活動に関するノウハウや専門家知識の獲得(人材育成)。
- 2.一時帰村・担い手の宿泊施設、ボランティア間の交流場所の確保に関する調査・研究・実施。
- 3.介護保険法の改正に伴う地域協議会・生活支援コーディネーター配置等に関する調査・研究。本事業への行政区代表の参加促進。

平成27年度活動の方針

- 1.商業施設、特別養護老人ホームかわうち等との連携
- 2.川内村社会福祉協議会から要請がある配食サービスを本会で行うこと(川内村商工会からの移行)
- 3.川内村社会福祉協議会から要望がある介護保険制度外移送サービスについての調査・研究・試行
- 4.本年から始まる「そば」を売りにした観光開発イベント「そばフェスティバル」への協力